

7月4日(月)14時の
環境省公表と
同時発表になります

平成17年7月4日
環境管理課水環境グループ
担当 今雪、稲田(内線 2866)

環境技術実証モデル事業 湖沼等水質浄化技術分野 における実証対象技術の選定について（お知らせ）

1. 選定

今年度の環境省の環境技術実証モデル事業（湖沼等水質浄化技術分野）として、香川県で実施する実証対象技術を1件選定しました。

今後、実証機関である香川県環境保健研究センターが中心となり、8月より約5ヶ月間、水質検査等による実証試験を行い、選定技術の環境保全効果を評価します。

2. 選定技術の概要

平成17年5月26日（木）から6月8日（水）まで募集を行なったところ、6件の応募がありました。

これらの技術について、平成17年6月23日（木）に開催した第1回香川県環境技術実証モデル事業技術実証委員会（会長：長谷川 修一香川大学工学部教授）にて、技術の先進性や環境保全効果等を検討のうえ、実証対象技術を1件選定し、6月30日に環境省から承認を得ました。

実証対象技術

環境技術開発者	技術の概要
積水アクアシステム(株) (大阪府大阪市)	微細気泡並びに加圧、循環による水質浄化

3. 実証試験概要

- ・場 所 : 木田郡牟礼町牟礼723 「長池」(農業用ため池)
- ・期 間 : 平成17年8月～平成17年12月
- ・目 的 : ため池の水質改善

(参考) 環境技術実証モデル事業

環境技術実証モデル事業は、既に実用段階にありながら、環境保全効果等についての客観的な評価が行われていないために普及が進んでいない先進的環境技術について、その環境保全効果等を第三者が客観的に実証する事業をモデル的に実施することにより、環境技術実証の手法・体制の確立を図るとともに、環境技術の普及を促進し、環境保全と環境産業の発展を促進することを目的とするものです。